

# 中富小だより

所沢市立中富小学校 学校通信第6号  
令和2年8月18日発行

## 学校教育目標

「なかよく かしこく たくましく」

### 三つの約束

- あいさつ
- 整理整頓
- 時間を守る

1年生	41名	4年生	42名
2年生	42名	5年生	57名
3年生	51名	6年生	59名
児童数	5組		6名
全校児童数	298名		

## 夏休み、平和と子どもたちの成長を祈る

校長 仲田 智宏

夏休みの初日、梅雨が明けました。太平洋高気圧に覆われた日本列島は真夏になり、季節の変化という自然の大きな力を感じます。1学期の授業が続いていた7月とは比べようもない猛暑の毎日です。関東地方では海の日的前後に梅雨明けし、夏休みに入るとというのが例年ですが、今年はかなり遅れました。夏休みが削減され、7月いっぱい授業が続いていたことを考えると、学期末の暑さ対策は助かりました。終業式から3週間と経っていませんが、今年度は2学期が始まります。猛暑には十分注意しながらのスタートです。

さて、保護者や地域の皆様は、夏休みやお盆休みをいかが過ごされたでしょうか。再度の緊急事態宣言には至らなかったものの、帰省や旅行については各自の判断と感染防止の徹底が求められました。私も、コロナ禍で外出は控えめとなりました。法事、運転免許の更新、教員の勉強会へ参加と自身の社会生活に不可欠な行動をし、あとは家族とのふれあいを中心に過ごしました。

私にとってこの真夏の時季、例年とは少し違う過ごし方だったのは、戦争や平和について考える時間が十分にとれたことです。「広島原爆の日」「長崎原爆の日」「終戦の日」、それぞれの日の朝を自宅で迎え、新聞を読みました。そしてテレビで報道番組を見ました。戦後75年に、歴史、平和への願い、教育の役割について考えを確かめることができました。

今年は在宅の夏休みのため、過去に行った旅行をふり返ってみました。戦争や平和を考える場所として、広島には高校の修学旅行で行きました。原爆ドームを見学したことを今でも覚えています。仕事も含め何度か行った

沖縄では、南部戦跡や平和記念公園へ行きました。長崎へ行ったこともあります。鹿児島へ行ったとき、知覧特攻平和会館へ行きました。その時はちょうどお盆でした。祈りを捧げる方々が訪れていて、とっても静かでした。戦争の悲しみを感じたことを覚えています。学生時代の修学旅行も含め、10歳～40歳代にはいろいろ旅行しました。今の立場で、平和をテーマに旅行先で見たものや感じたことをふり返ってみると、単なる思い出としてだけでなく、その光景が子ども達へ伝えたい話として、職員に伝えたい話として甦ってきます。いずれ機会があれば、役立てたいと思います。

今はコロナ禍です。旅行するにも制限が多いのが現状です。保護者の方は、子どもにいろいろ経験させたい、見せてあげたいと願っていることと思います。私も職員には、美術館や博物館、コンサート、スポーツ、旅行など、日常生活を充実させながら見聞を広め、それを授業に生かしてくださいと伝えています。しかし今は、多少がまんし感染予防を優先するときのようです。早くコロナウイルスが終息し、世界中の人々が自由に行き来しながら、平和な国際社会になることを祈ります。

今日から2学期です。猛暑がまだまだ続きますし、その後の残暑も予想されます。そうした中、熱中症と感染予防を図りながら教育活動を始めます。学習保障を最優先に進めながら、行事については屋外実施が可能かどうか探りながら、状況によって中止の判断もしてまいります。子ども達がたくましく生き抜く力を獲得できるように、教職員一丸となって取り組んでまいります。2学期もどうぞよろしくお祈りいたします。